



自宅が安全なら「在宅避難」 電気や水道 使えない想定を

ライフラインが途絶えたら何が必要かを考えて備蓄しましょう。カセットコンロや携帯トイレ、ランタンはマストアイテムです。



帰宅困難者は 最大で「約34万人」

災害時に一斉に帰宅し、道路に人があふれると救助活動ができないほか、二次災害の危険があります。大切な人や自分のために会社や学校など安全な場所にとどまりましょう。



揺れもこわいが 「火災」も危険！

避難する際は必ず火の元を確認し、ブレーカーを落としましょう。



エレベーターは 「約1000台」が停止

エレベーターの中で揺れを感じたらすぐ、すべての階のボタンを押しましょう。避難する時はエレベーターを使わないでください。



周りが安全ならば その場にとどまろう

無理に家に帰ろうとせず、安全な場所にとどまりましょう。行き場がない時は「一時滞在施設」へ避難しましょう。

東京都・内閣府被害想定より

あの日の学びで、その日に備える。

関東大震災

1923 ————— 2023



NHKわがまち防災

https://www.nhk.or.jp/shutoken/kantoshinsai/wagamachi_tokyo



中央区防災対策ページ

<https://www.city.chuo.tokyo.jp/bousaizen/bousai/bousaitaisaku/index.html>

100年